



※給湯機 水・湯側共、必ずバルブを取り付けて下さい。
(給湯機メンテナンスの際、必要です。)

※給湯機 水・湯側共、必ず銅管を使用して下さい。
(加圧装置本体と循環させるため、両側共高温になります。)

※1次側・2次側・給湯器廻り、バルブは現場手配となります。

※補給水(市水)管はその地域の[水道局施工基準]等の法規に従い、施工して下さい。
 ※給水配管には錆びの発生する管材料は使用しないで下さい。(HIVP・VLP)を御使用下さい。
 ※給湯配管には錆びの発生する管材料は使用しないで下さい。(CU・SUS)を御使用下さい。
 ※洗髪器給水・給湯は、ユニットからの二次側配管になります。(市水の使用は不可！)

図面No.	工事名 F 3 GMR (H) 標準配管図	図面	設計No.	製図			不二技研工業株式会社 本社 名古屋市西区こも原町232 TEL 052-502-9151(代) 東京支店 川崎市高津区溝口6-6-23 TEL 044-833-4466 FAX 052-502-7526 FAX 044-833-4458		
		縮尺 1 / 10	日付 応急SW 2012.12 2010.02	検印	検印	検印			